



教育魅力化推進事業 3Q報告

2024 / 1 / 10

Update “Freedom”



本日の流れ

Update "Freedom"

①KPI進捗

②各事業の取り組み共有

-遊育

-あびらぼ

-ワクワク研究所

-ABIRA Talks

-教育課程支援事業

-コンシェルジュ

③その他



KPI進捗

Update "Freedom"

	3 Q実績 ※1/10時点	年間目標進捗
遊育	ふれいば11回/ イベント5回	月 4 回以上
ワクワク研究所	10回	
あびらぼ	28回	2 地区各 2 教室
教育課程支援事業	3 5 コマ	8 3 / 1 0 0 コマ ※追小 1 コマ
コンシェルジュ	3 回	イベント 7 / 4 回

KPIの進捗は順調。

	3 Q実績 ※1/10時点	年間目標進捗
参加数	144名	330/323名
接触数（4年～中2）	61名	119/136名

参加率50%達成👏
昨対比約2倍

Before

R5年度	追分	早来	種別
子ども園 (3歳~5歳児)	45	128	173
	37.8%	16.4%	22.0%
小学校	109	199	308
	51.4%	33.7%	39.9%
中学校	56	109	165
	28.6%	7.3%	14.5%
エリア別	210	436	646
	42.4%	22.0%	28.8%

After

R5年度	追分	早来	種別
子ども園 (3歳~5歳児)	45	128	173
	37.8%	48.4%	45.7%
小学校	109	199	308
	55.0%	53.3%	53.9%
中学校	56	109	165
	100.0%	26.6%	51.5%
エリア別	210	436	646
	63.3%	45.2%	51.1%

3Qは遊育クリスマスフェス、学校の中でのあびらぼ開催が影響し、早来地区を中心に参加者を集めることができた。



各事業の取り組み共有

Update "Freedom"



遊育

Update "Freedom"

- 1) 3Q活動計画
- 2) 3Q活動内容
- 3) 3QのGOOD/MORE
- 4) 4Q活動計画





【参加者】

延参加者：506名

【実施イベント】

10 月	21日（土）みんなの丘 28日（土）夜のガンケ山
11 月	14日（土）放課後子ども教室「ミニマルシェ体験会」 18日（土）ガンケ山
12 月	16日（土）クリスマスフェス





早来地区へと遊育を拡大

- **みんなの丘**
 - 2Qの「のもり」に続き、ガンケ山以外で自然体験イベントの開催に成功
- **クリスマスフェス**
 - ゆういくマルシェ初出店者増加
 - 早来地区の参加者増加
 - 多数の事業者とのコラボ
→遊育事業（教育プラン）の認知拡大へ



丘の茂みを活かした宝探しビンゴやカモフラージュゲーム



みんなの丘の自然を活かしたコンテンツを園児、小学生、保護者が満喫することができた。



デッキスペースを活用したゆるやかな創作遊び



はやきた子どもの遊び場づくりネットワークの方のコンテンツ力
✖ その場ならではの体験づくりに成功。
早来学園という立地の良さもあって、園児層の親子が多数参加。



総勢約220名
来場者数183名（子ども：93名、大人：90名）



放課後子ども教室コラボ「ミニマルシェ体験会」



これまで追分地区からの出店者が多かった。出店ハードルを下げるための体験会を実施。9名参加のうち3名がマルシェに出店。



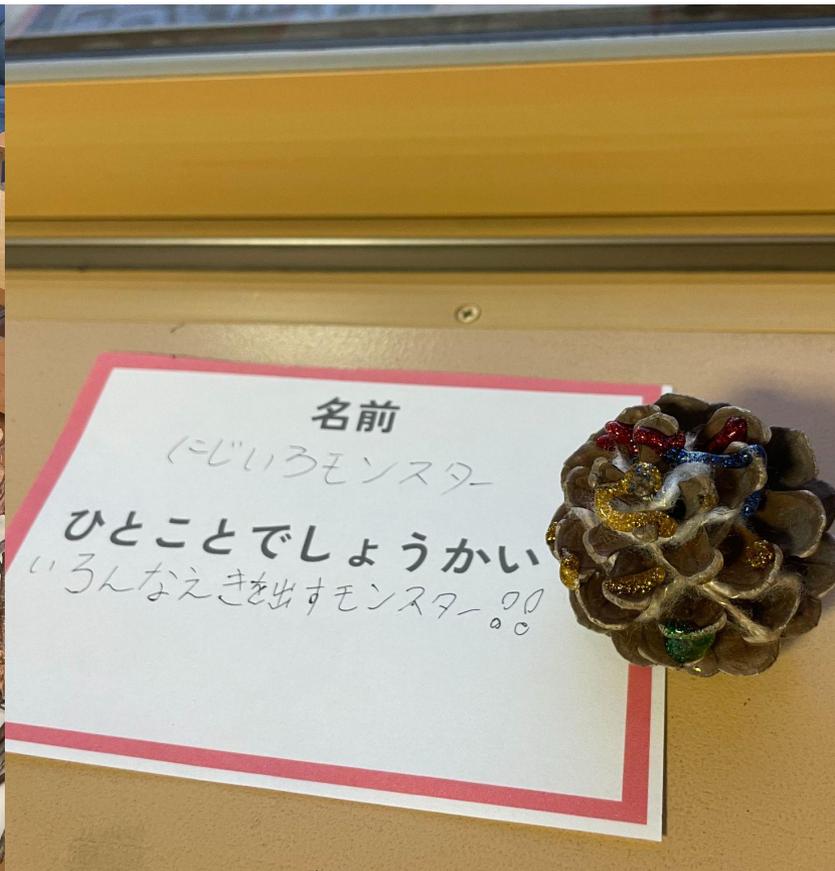
ゆういくマルシェ



全11店舗、14名が出店。うち初出店は、11名。
「またやりたい!」「今度はここを改善したい」と、さらなる
「やってみたい」を生むこともできた。



装飾づくり@One Step



当日のコンテンツの一つ「小さな生き物探し」の生き物を作成。
会場装飾に関わることで、イベントの作り手に。



装飾づくり@はやきたこども園



はやきたこども園と初の協働。
招待状付きチラシの配布で、園児と保護者の来場も多数。



地域事業者や部活動など11の個人/団体と協働



「クリスマスを楽しみたい」という想いを遊育主催イベントに結集。まちの方々の力を活かしてコンテンツ作りに成功。





Good

- 追分地区に偏っていた遊育参加者を早来地区に拡大
- 多数の地域事業者との協働を実現
- 準備期間から子どもたちを巻き込むことができた

More

- 地域事業者との協働を継続していけるように関係性作りを行うこと

「この団体とはこんなことができる／もっとこんなことができそう！」が見えてきた3Q。4Qは来年度に向けて、コンテンツの整理や事業者との継続的な関係性作り。



【目標】

- ・2月の雪遊びイベント

安子連、スポーツ推進員、北大縁とコラボ。来年度以降の協働も視野にイベントを実施すること

【イベント計画】

1月	20日（土）アビー5周年イベント
2月	4日（日）雪遊びイベント
3月	
ふれいば：9回	



あびらぼ

Update "Freedom"



- 1) 3Q活動計画
- 2) 3Q活動内容
- 3) 3QのGOOD/MORE
- 4) 4Q活動計画



【目標】

- あびらぼの正しい認知を広げる（継続）。
- 生成AI編でアウトプットを出して実際に使用する。
- ビジネス編をリニューアルし、実施する。

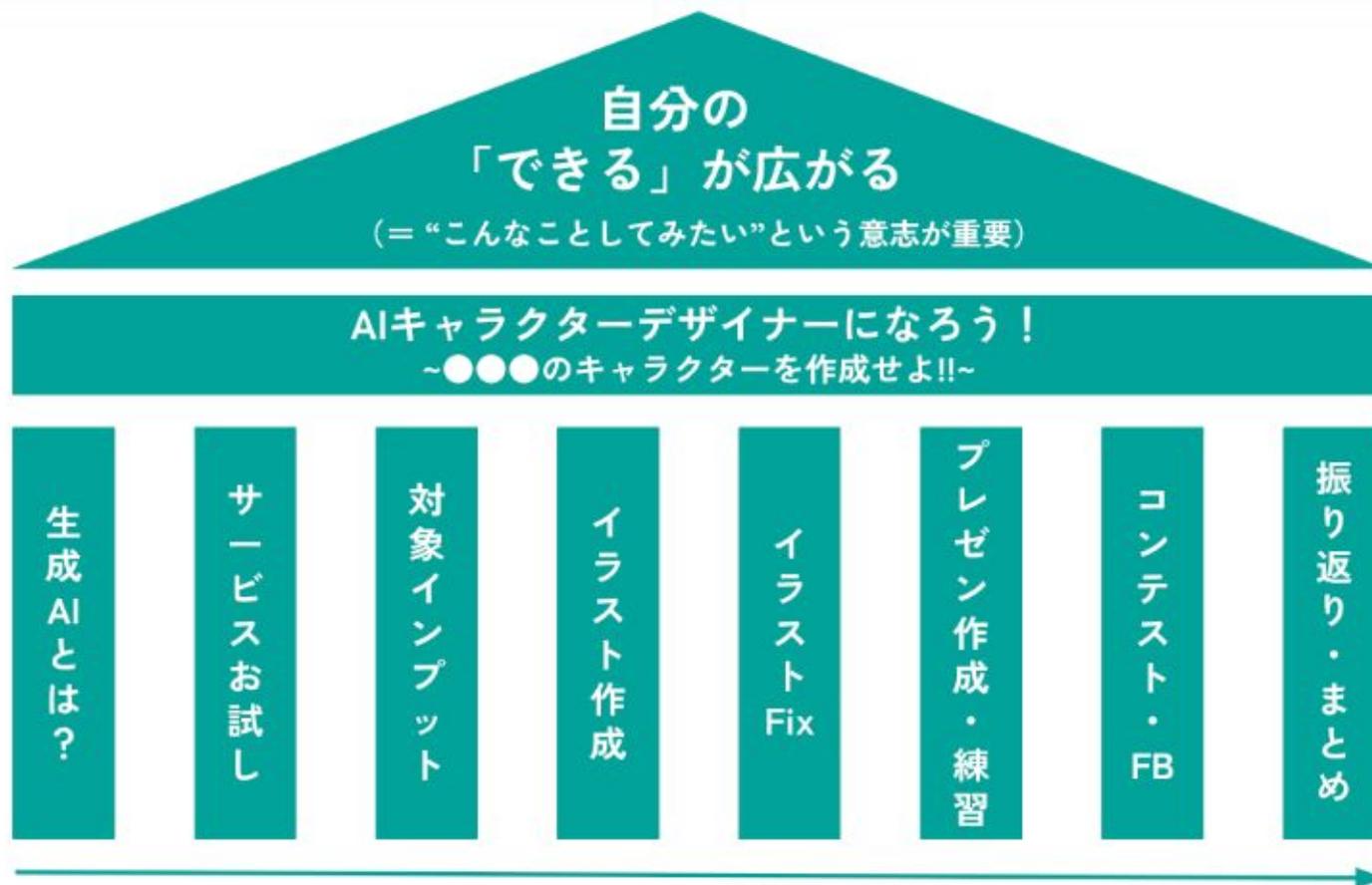
【計画】

10月	<ul style="list-style-type: none"> • 生成AI編
11月	<ul style="list-style-type: none"> • 生成AI編コンテスト • 中学校プチアあびらぼ~ビジネス編~ • 二者面談（全員対象）
12月	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネス編開始 • 町外イベント（北海道大学） →1/13に変更





生成AI編~授業概要~



リスク面でタブー視されがちな「AI」だが、技術に使われるのではなく、
技術を使える人になってほしいという思いから、テーマとして選択。



生成AI編~小学部→あびら教育プラン~



『あびらぼ』のみではなく、『あびら教育プラン』の全体像を捉える機会に。
遊育~ABIRA Talksの認知拡大、将来的な相互乗り入れを狙う。





生成AI編~中学部→まち（おむすびカフェ / NorthernBREW）~



まちの事業者を対象にすることで、子どもたちとまちとの接続を図る。



生成AI編~子どもたちのアウトプットがまちで使われる~



「限定ビールのラベルに使用したい」など、かなり実用的な案を先方よりいただいた。また、それを見た他の事業者から「うちのも作ってほしい」と発注があった。子どもの挑戦が大人の心を動かす好例。

ビジネス編~授業概要~

“相手”を想像しながら
つくる喜びや愉しさを体感する。

道の駅で何かを販売し、利益を上げよう。

12/18	01/22	01/29	02/05	02/19	02/26	03/04	03/10	03/11
ミッション発表	商品開発のインプット 模擬チラシづくり	店舗装飾インプット 商品開発 品目	商品開発 詳細 チラシ作成	装飾・キャッチ作成 おやすみ	装飾・キャッチ作成 売価を決める	接客の練習 必要なもの準備	本番	振り返り・まとめ

「販売品目の考案からスタート」「小中学生でタグを組む」の2点において
R4年度からリニューアル。より「探究」できるように設計。



役割を理解しよう！

中学部

開発部門（つくる）

何を??

メニュー開発 / 売値決定

小学部

えいぎょう
営業部門（うる）

どうやって??

そうしょく
デザイン / 装飾 / 接客

◆営業許可申請（臨時営業）（同一の場所で7日間以内）

- ・ イベント等において、不特定多数の人を対象に食品を提供する場合に必要。
- ・ 管轄の保健所に相談して取得する。申請から2~3週間。
 - ↳ 「食品衛生責任者」必須。
 - ↳ ①申請書（「提供施設平面図」含む）②イベント会場図の提出。
- ・ **テイクアウト（TO）前提は不可。**
 - ↳ 別途、「製造業」許可（施設）が必要になる。
 - ↳ NG例：クッキーをラッピングした状態で販売する。
 - ↳ OK例：TO用のフタをお客様の任意でつける（但し、「その場で」を強調）。
- ・ 食中毒等に対する保険は含まない。必要な場合は、別途保険に加入。



Good

More

- ・生成AI編を無事着地させられた。
- ・その過程で、「AI活用に慣れる」「まちと関わる」の2点を達成できた。
- ・新しいビジネス編の構想。
- ・追分中学生全生徒 / 早来学園7.8年生約10名へのプチあびらぼの機会。

- ・中学生×教育プランの最適解の模索。
- ・難易度が上がったビジネス編の着地。

新規との接点づくり、授業満足度ともに順調。ビジネス編を稼働させつつも、R6年度のコースの最適解を模索し、年間カリキュラムに落とし込んでいく。





【目標】

- あびらぼの正しい認知を広げる（継続）。
- ビジネス編を着地させる。
- R6年度のカリキュラムを決定する。

【計画】

01月	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネス編 • 町内イベント~カラダ探究~ • 町外イベント（北海道大学）
02月	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネス編
03月	<ul style="list-style-type: none"> • ビジネス編本番 • 町外イベント（インタビュー@新千歳空港）



北海道大学へ出張！

デジタル体験イベント



イベント日時
2024年1月13日(土)
14:00～16:00

対象：安平町在住の小学5年～中学3年生
定員：15名程度 ※保護者同伴OK！

場所
北海道大学
FMI国際拠点

「施設北大学生がミニ授業まじえてくれるよ！」


バス送迎あり！


申込みは2024年1月5日(金)まで！
お申込みはこちら 

学校では習わない！ もっと上手になりたい人のためのトレーニング学



理学療法士による本格的なカラダの知識を、小学生でもわかる内容にアレンジし、楽しく体験しながら学ぶプログラムです！

概要

推奨年齢：小学4年生以上
持ち物：運動靴
会場：町民センターホール
協力：新千歳クリニック

申込み

このイベントは、アビ5周年記念イベントの一環として開催いたします。参加希望の方は、こちらからお申込みください！(当日の混入り参加も歓迎です！)



1/20(土)
11時～12時半

委託元
安平町教育委員会事務局/学校教育グループ
地域おこし協力隊 (担当：志田)
連絡先 080-6684-9846/0145-29-7036

委託者
株式会社FoundingBase (担当：林)
連絡先 080-6540-4056

カラダ探究

アビ5周年記念イベント

参加無料

親子参加歓迎

ワクワク研究所

Update "Freedom"



- 1) 3Q活動計画
- 2) 3Q活動内容
- 3) 3QのGOOD/MORE
- 4) 4Q活動計画



【目標】

- ・子どもたちのプロジェクトが“より良く”なるためのサポートをする。
- ・まちを巻き込むプロジェクトを思考する。

【計画】

10月	・ 教室運営
11月	・ 教室運営
12月	・ 発表会 (12/23) ・ 6期の生徒募集

ワクワク研究所のコンセプトの策定



“より良い”を目指し続ける



コンセプトに紐づいた行動指針の共有

① 失敗大歓迎、何度もトライしよう！

② 「できない」を「できた」にしよう！

③ ひとりで抱え込まずに、誰かを頼ろう！

毎回伝え続けることで、価値観が浸透し、運営がやりやすくなった。
キャパシティ問題解決の一助にもなっている。



9月~12月まで合計13回（発表会含む）の実施



早来学園とENTRANCEの両方で交互に実施。
学園の良さを活かしたPJの広げ方にもトライできた。

発表会実施。約30名の参加。保護者満足度100%。「またやりたい」100%。





発表会実施。約30名の参加。保護者満足度100%。「またやりたい」100%。



漢字一文字でワクワク研究所を表してもらった。
「楽しい」「難しい」という感情が混在する場所だという認識。



発表会実施。約30名の参加。保護者満足度100%。「またやりたい」100%。

保護者アンケート（抜粋）

普段書いているイラストに、調べ物をプラスすることでより自分の思考と興味を深められたようで良かったです。ただ"楽しい"では終わらないのが素晴らしい！

最後までこだわって妥協せず取り組む姿勢は、身についたと思います！子どもが安心して好きなことを深められる場所だなと思いました。

順を追って説明してくれる子、問いかけるとポツポツと返してくれる子、好きが溢れてどの切り口からも話せちゃう子、皆タイプが違うのですが、そこを含めてまるっと個々のプロジェクトになっているんだな、そこが良いなと思いました。



Good

- ・「ワクワクとはどんな場所なのか」という文化が醸成され、運営コストを下げながら進めることができた。
- ・これまでよりも子どもたち同士の会話が増えた。
- ・6期は、過去最大の13名でのスタートになりそう。

More

- ・発表会の参加者の属性を増やし、安平町の挑戦教育の良さを更に伝播させる。

大事にしたい価値観を子ども・保護者と共有できてきており、ワクワクで伸びそうな子に対して、正面から価値を提供できている。

【目標】

- ・ 3/30の発表会まで、文化伝播を大切にしながら、教室を運営する。
- ・ まちや社会を巻き込むプロジェクトを子どもたちと一緒に思考する。

【計画】

01月	・ 教室運営
02月	・ 教室運営
03月	・ 発表会 (03/30)

ABIRA Talks

Update "Freedom"



12/9に開催。約80名の参加。三者三様の挑戦が交わる場所。



アビスポーツクラブ
~周年イベントの記念品を作りたい~



早来学園ルールメイキングPJ
~アイディアに対する意見を聞きたい~



早来出身の北海学園生
~安平町でキャリア教育イベントを~



北海学園生のアンケートに答える
早来学園生

「安平町に関する挑戦を応援する」というコンセプトの元、「資金調達」にとらわれず、柔軟に形を変えて実施。





教育課程支援事業

Update "Freedom"



- 1) 3Q活動計画
- 2) 3Q活動内容
- 3) 4Q活動計画



なぜ安平町は 鉄道が有名なの？



たんてつこう
炭鉄港がわかれば、
なぜ安平町は鉄道が
有名なの？もわかる！

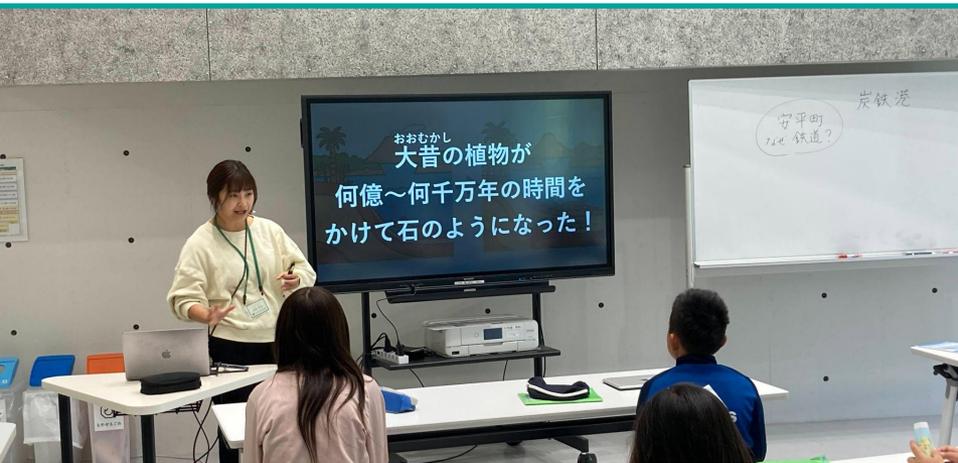


ミッション

たんてつこう

安平町と炭鉄港について学び、

わかりやすくまとめよう！



テーマ授業
石炭ってなんだ？



石炭を必死に磨く！！



採炭の方法や町の発展との繋がりを
石炭博物館で学ぶ

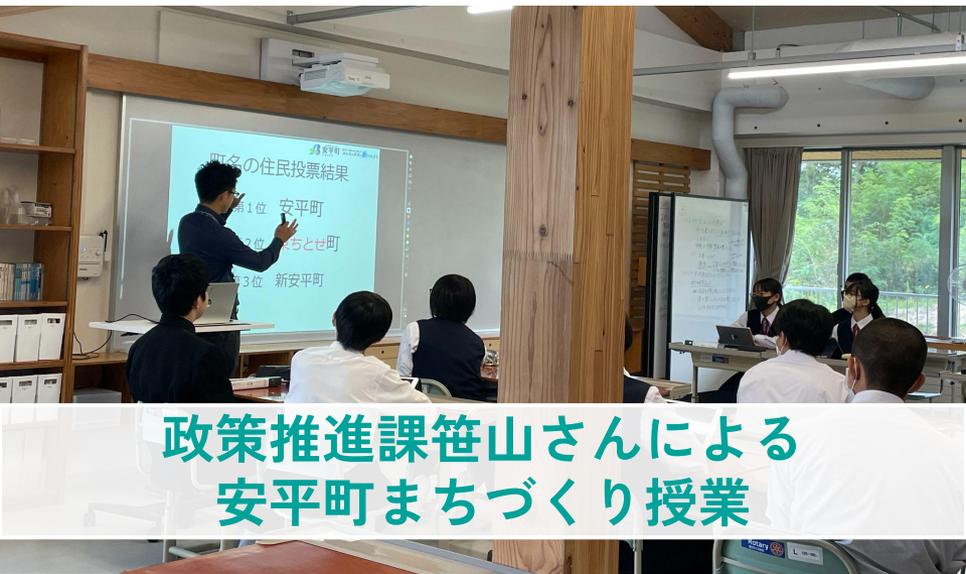


安平町の鉄道について道の駅にて
学芸員さんから学ぶ



ミッション

安平町のリアルな悩みを理解し、
解決するためのワクワクする行動を考え、
実際に行動して町を変える一歩を創る！



政策推進課笹山さんによる
安平町まちづくり授業



「子どもの意見を反映する仕組みがない」
課題を解決するアイデアを思考し、アクション
を試してみる



教育委員会三上さんによるCFCIの授業

テーマは「ソーシャルチェンジ」
当事者（役場職員）からの授業を受け、インプットし、安平町のリアルな課題を
アクションも含めて行う授業



役場職員さんへ中間発表



実際にアクション



町へプレゼンをし、アイデアを提言

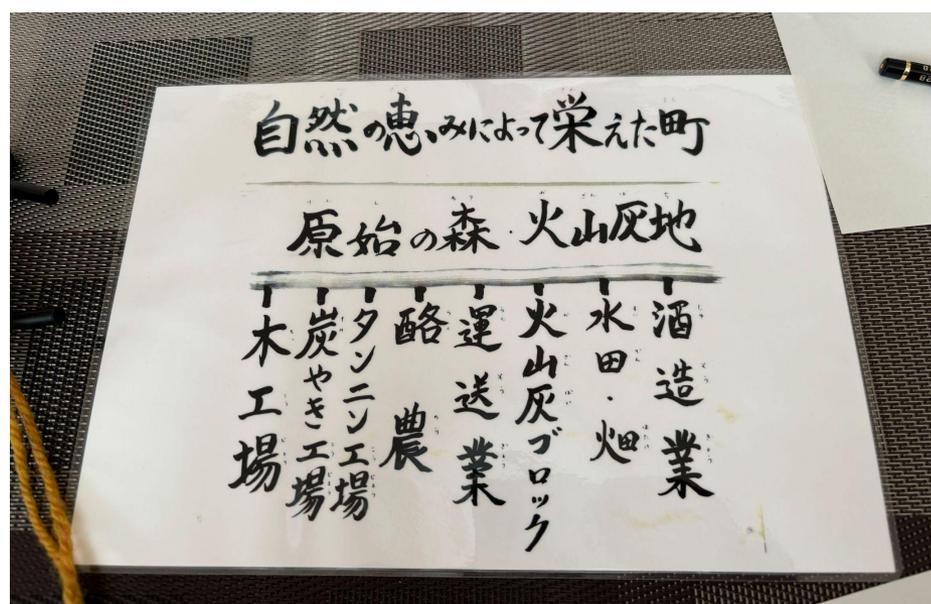
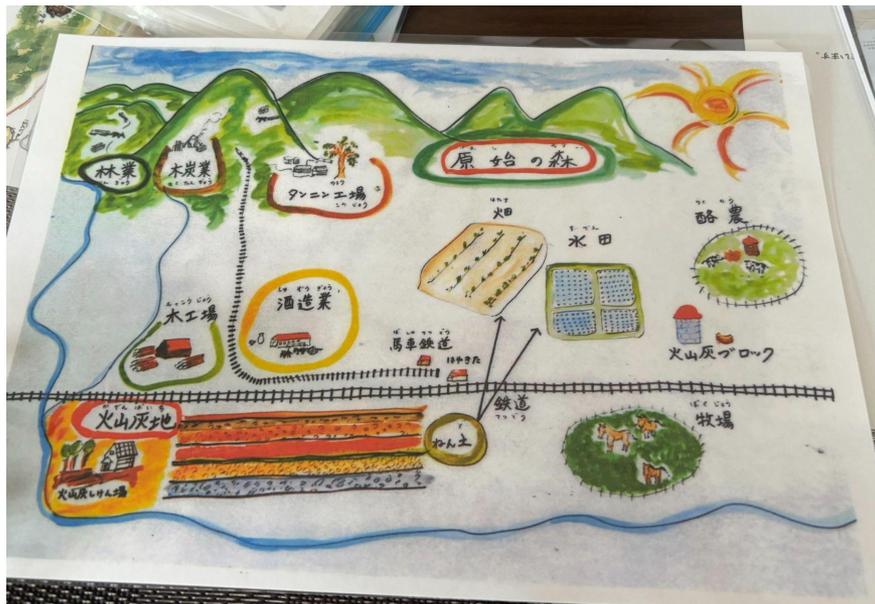


作品は遊育クリスマスフェスにも展示



【計画】

- ・ 4年：郷土史、高齢者学習
- ・ 5年：仕事学習
- ・ 6年：SDGs学習





Good

- ・あびら教育プランの機会との接続

More

- ・先生視点での企画書の精度
- ・一歩先の想定をしたアクション

どうしても関係者が多い分、調整が重要になってくるため、それも含めて来年度スムーズに進められるように学びを蓄積しておく。



コンシェルジュ

Update "Freedom"



- 1) 3Q活動内容
- 2) 4Q活動計画

まなびおを活用したイベントの開催



ABIRA Talks、遊育クリスマスマルシェ、ワクワク研究所、をまなびおにて開催。大掛かりなイベントについては管理人さんや学校に事前共有をし、念入りに対策をした。

その他たくさんのイベントが開催されました



無料
うどん
食べ打ます

場所：早来学園
キッチン

第2弾
口腔教室で学んで
無料でうどんを食べよう

12/6
(水)
10:00 ~ 13:00

口腔教室 + 安平うどん食堂

麺の販売もありますヨ

日付: 12月6日(水)
時間: 10:00~13:00
住所: 早来学園キッチン 安平町早来天保169-1
TEL: 099-8453-3333

初心者向けセミナー
**ITを活用した
在宅ワークの
はじめかた。**

参加無料

12.2 (Sat)
2023. 10:00-12:00

「在宅勤務からでも、ITを使ったりする仕事も、
スタートするステップを知ることができ」

主催 | 有限会社アビラ 株式会社アビラ
会場 | 早来学園 研修室

安平町生涯学習フェスティバル **入場無料**

あそびのひろば
安平町

10月22日

申込不要！
4年ぶり開催！
赤ちゃんや乳幼児と
一緒に参加できる
時間を過ごそう！

- あそびのひろば (早来学園) 10:00~14:00
- あそびのひろば (乳幼児とその親子) 11:00~14:00

あそびのひろば (ふしぎの森のヤーヤー) 10:00~11:00 (人形劇即えりっこ)

あそびのひろば (おはなしのへや) 10:00~11:00

あそびのひろば (コーヒー・パン販売) 12:00~14:00 (あびらカフェ)

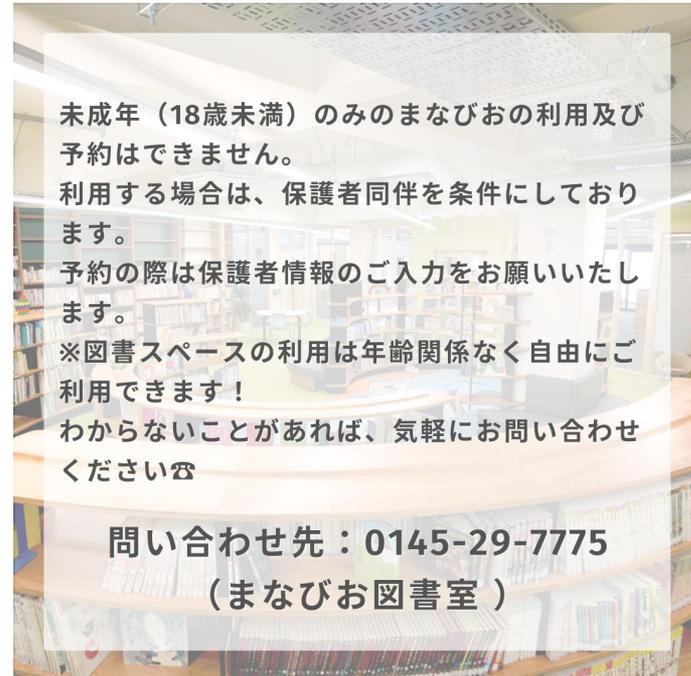
問合せ あそびのひろば実行委員会 (安平町教育委員会 社会教育グループ)
TEL: 0949-29-7036

10.9(月・祝)開催

子ども向け無料
デジタル体験イベント
参加者募集中!

その他、毎週土日には必ずイベントが開催されるほど賑わった3Qでした。

未成年の予約に関する周知を実施



未成年利用に関するルールが浸透されにくく、Instagramや予約サイトを活用し周知。



Good

- ・新規イベントが多い中、大きなトラブルなく開催

More

- ・土日対応のコンシェルジュとの連携
- ・より事前予約が管理できるようにする

たくさんの新規イベントがあった中、大きなトラブルなく開催できた。
来年度へ向けて少しずつ今の業務の整理をしていく。

【計画】

- ・ 来年度の協力隊へ引き継ぐための整備と準備



その他_地域おこし協力隊インターン制度

Update “Freedom”



地域おこし協力隊インターン

○ 令和6年度に隊員数8,000人という目標に向け「応募者数の増加」が急務であるなか、令和元年度から「おためし地域おこし協力隊」を実施しているが、隊員としての実際の活動や生活が具体的にイメージしにくいという意見も。そこで、「おためし」と「本体」との間に、新たなメニューとして「地域おこし協力隊インターン」を創設し、応募者の裾野を拡大。

地域おこし協力隊インターン←NEW!

- ★期間
 - ・2週間～3か月
 - ★移住要件
 - ・なし
 - ★活動内容
 - ・地域おこし協力隊と同様の地域協力活動に従事
 - ★財政措置（特別交付税措置）
 - ・インターンのプログラム作成等に要する経費：
1団体あたり100万円上限
 - ・協力隊インターン参加者の活動に要する経費：
1人・1日あたり1.2万円上限
- ⇒地方への移住に淡い関心を寄せる方や地域おこし協力隊をあまり知らない方へアピール！
- ⇒地域おこし協力隊への参加を具体的なイメージをもって検討することが可能に！

おためし地域おこし協力隊

- ★期間
 - ・主に2泊3日
- ★移住要件
 - ・なし
- ★活動内容（例）
 - ・行政、受入地域等関係者との顔合わせ
 - ・地域の案内、交流会
 - ・地域協力活動の実地体験 等
- ★財政措置（特別交付税措置）
 - ・実施経費：1団体あたり100万円上限

地域おこし協力隊

- ★期間
 - ・1年～3年
- ★移住要件
 - ・原則、都市地域から条件不利地域への移住が必要
- ★活動内容（例）
 - ・地場産品の開発・販売等地域おこし支援
 - ・農林水産業への従事
 - ・住民の生活支援 等
- ★財政措置（特別交付税措置）
 - ・募集経費：1団体あたり200万円上限
 - ・活動経費等：1人あたり470万円上限

参考事例

- ・新潟県においては、「にいがたイナカレッジ」として、1か月（短期）～1年（長期）の「地域インターン」を実施。短期（主に大学生）113名、長期（主に社会人）35名が参加（2012～2019年度、延べ数）
- ・「集落の若い人たちが集まりに出やすくなったと思います」、「なかなか腰が重くて取り掛かれなかったことが、学生達が私たちの背中を後押ししてくれました」といった地域の声あり。



◆ R4修了生：8名

◆ R5修了生：7名（+4Q：3名）





ここに来るまでの自分



- ☆学校教育意外の教育の形って？
- ☆自分の成し遂げたいことって何？
- ☆自分はどんなふうに人と関わりたい？

あびら教育プランでの伴走



好きなことに集中して取り組む子どもたちと
それを支える大人の存在



大人も、子どもから
「元気」と「学び」をもらえる場所



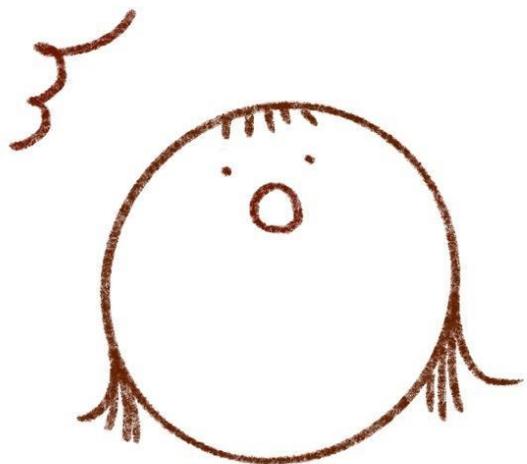
課題に対して、
自分の意見をもって交流していく姿



思いっきり遊んで、
自分の好きなことを極める



子どもたちかわいいなあ
やりたいことやってキラキラしてるなあ...
私も好きなこと形にしたいなあ...



できるのでは！？



次の日...



- ・ 表現活動が好き
- ・ 大きな壁や働く車にみんなで絵を描いてみたい
- ・ 人の思いを形にした作品を作りたい



計画の流れ

- ① ENTRANCEに関わってきた人や関わっている人に話を聞く
- ② デザイン案を決める
- ③ 制作



こだわり・テーマ

◆心があたたかくなる作品

(思い出と未来への願いの共存)

◆カラフルで未来の明るさを表現

◆多くの人を巻き込んだ活動・作品



子どもを安心して連れてこれる
人が人を育てる **はじまり** **箱** 再会
カオス **第二の家** **安心** 休息
部活終わりの溜まり場 入口 **だれでも**
いつの間にか 世界とのつながり
世界の広がり **挑戦** **遊び**
火を灯す **自由** 機会をくれる
暖炉 未来 拠点
思いをもつ人 エネルギーチャージ

立ちはだかる困難



ぽかぽかのお家と、
極寒の外。
イベントの日は雪積もってたな...

結露

窓が高くて
直接描くのは...



迎えた当日！





完成！



4周年記念窓ガラスアート

ここは、来るというでも誰かがそこにいて、いつのまにか友達になって、まるで第二の家のような安心感がある場所。いろんな人が来て、世界が広がって、そして自分も羽ばたいて行く場所。そしていつでも戻って来れる場所。たくさんの足跡で、世界の広がり表現しました。

ここは自分の好きなことを好きなようにする場所。ホールで遊ぶ子供がいれば、パソコンを持って作業する人、キッチンでご飯を作ったり、暖炉の前でのんびりはなしたりする人。いろんな事情が、一つの場所で馴染む、不思議な場所。たくさんのホーズとガラスの色合いで、自由さと個性を表現しました。

驚いたのは、話す人たちがみんな同じ感覚をもっていること。特別な場所に絵を描かせていただきました。

イベント当日、子どもも大人も、夢中になって絵の具で絵を描いてくれました。

話す前はドキドキだったけど、こうして形になって、残っていくことがとっても嬉しいです。窓ガラスの地球に青空が映るようにしたのがお気に入りです。

2023.11.26

J/M



人生のターニングポイント としての安平町

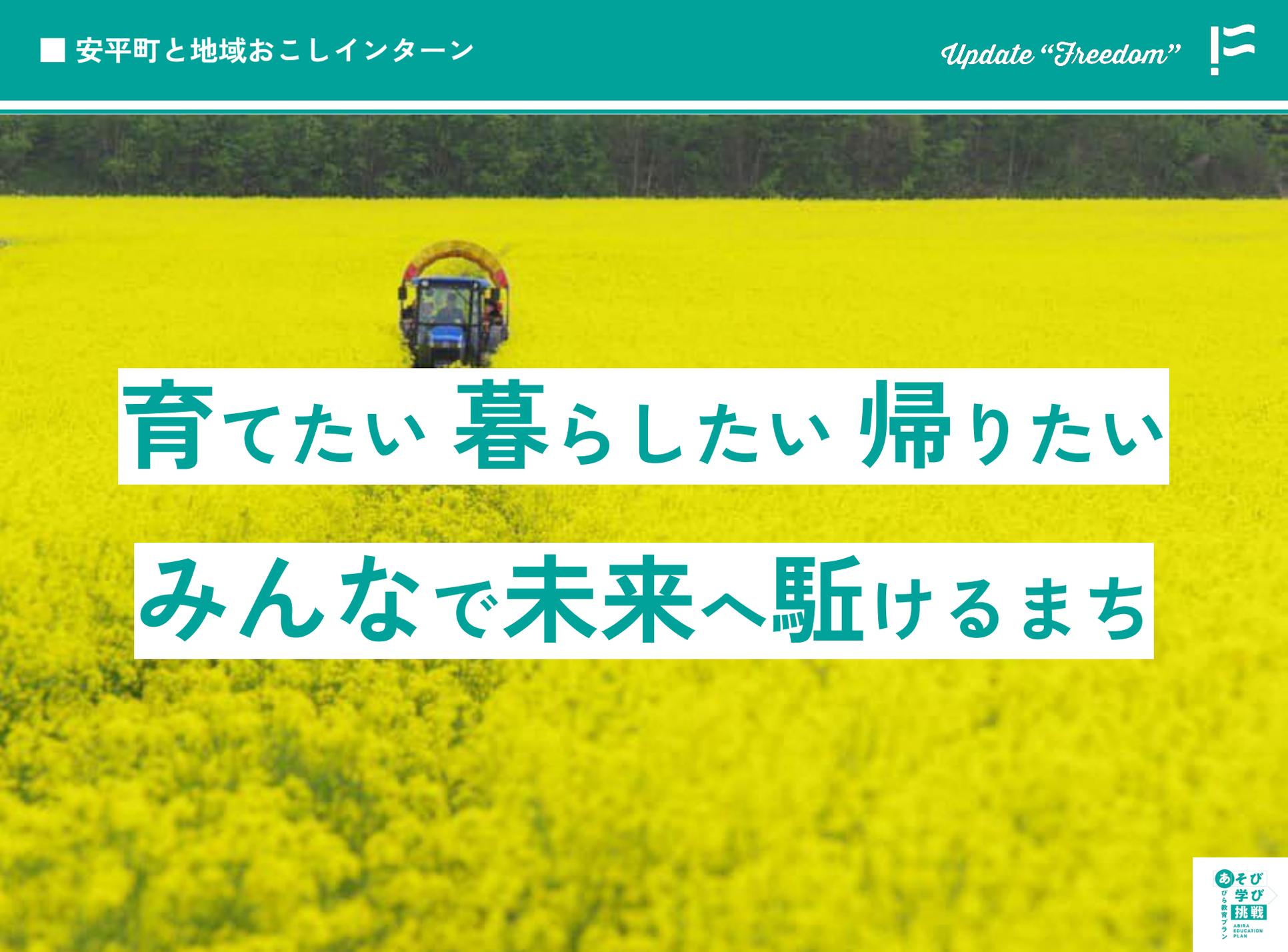


◆進路変更→ネイチャー系映像制作会社へ

◆浦河町 森の幼稚園 立ち上げメンバーとして活躍

◆関東圏×地域×大学生イベントでの登壇

◆東京都教員採用試験合格



育てたい 暮らしたい 帰りたい

みんなで未来へ駈けるまち



1 地域コミュニティ

地域コミュニティ活動の活性化の推進





3 生涯学習・社会教育 将来のまちづくりを担う人材の育成

